



こんにちは とみさと議会です

発行／富里市議会
編集／とみさと議会報編集特別委員会
発行日／平成 22 年 11 月 1 日
住所／〒 286-0292
千葉県富里市七栄 652-1
TEL:0476-93-6492
FAX:0476-91-3595

第168号



富里市チームも大活躍

ゆめ半島千葉国体デモンストレーション・ソフトバレーボール競技（富里社会体育館）

9

平成 22 年

月定例会

おもな
内容

- 9 月定例会の議案と議決結果…………… 2
- 決算審査特別委員会委員長報告…………… 3
- みなさんからの請願・陳情…………… 3
- 一般質問…………… 4

9 月定例会の議案と議決結果

市長提出議案

諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（笠間由子氏）	適任である旨答申
同意第 1 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（佐々木浩二氏）	全会同意
議案第 1 号	富里市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第 2 号	富里市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第 3 号	富里市道路線の認定について（市道 1-0359 号線）	全会可決
議案第 4 号	平成 22 年度富里市一般会計補正予算（第 3 号）	全会可決
議案第 5 号	平成 22 年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	全会可決
議案第 6 号	平成 22 年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	全会可決
議案第 7 号	平成 22 年度富里市老人保健特別会計補正予算（第 1 号）	全会可決
議案第 8 号	平成 22 年度富里市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	多数可決
認定第 1 号	平成 21 年度富里市各会計歳入歳出決算の認定について	多数認定

委員会提出議案

第 1 号	国営かんがい排水事業「北総中央地区」の完成にむけての意見書について	多数可決
第 2 号	国における平成 23（2011）年度教育予算拡充に関する意見書について	全会可決

議員提出議案

発議案第 1 号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	否決
発議案第 2 号	子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書について	多数可決

※議案に対する議員別の賛否については市議会ホームページに掲載しております。

9 月定例会は、8 月 27 日から始まり、9 月 28 日まで 33 日間の会期で開かれました。市長から議案八件、諮問一件、同意一件及び認定一件が提出され、それぞれ原案どおり、可決、答申、同意、認定しました。

また、委員会提出議案として二件が提出され、原案どおり可決しました。

議員提出議案は二件が提出され、一件を原案どおり可決しました。

一般質問は、四会派の代表から会派代表質問が、個人質問は九人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

議員研修

平成 22 年度富里市議会議員研修会

期日：8 月 17 日

講師：東京財団研究員 中尾修氏

内容：議会改革について



千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会

期日：10 月 15 日

講師：横江公美氏

内容：ネットの活用で政治はどうなるのか

総務常任委員会視察

期日：10 月 5 日から 7 日までの 3 日間

視察地及び視察事項：

- (1) 千葉県野田市 公契約条例について
- (2) 群馬県太田市 まちづくり基本条例について
- (3) 新潟県村上市 ながらパトロールについて

教育福祉常任委員会視察

期日：10 月 18 日から 20 日までの 3 日間

視察地及び視察事項：

- (1) 三重県鈴鹿市 学校教育について
- (2) 愛知県蒲郡市 高齢者タクシー料金割引について
- (3) 静岡県磐田市
 - ・いわたは一とふる商品券について
 - ・市費負担教員ふるさと先生制度について

決算審査特別委員会を設置

委員長 秋本真利 副委員長 窪田 優

委員 塩田和夫、中間幸一、原 清一、高橋益枝、中野信二、大川原きみ子、布川好夫

平成 21 年度富里市各会計歳入歳出決算審査報告（抜粋） 委員長 秋本 真利

平成 21 年度の一般会計及び特別会計の決算は、歳入が 210 億 6,645 万 5,007 円、歳出は 203 億 4,335 万 117 円となっており、実質収支は 6 億 3,939 万 1,890 円の黒字、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、2,282 万 8,070 円の黒字となっている。

これを地方公共団体の財政状況の分析等に用いられる普通会計における財務分析の数値で前年度と比較すると、財政力指数は 0.833 で 0.004 ポイント低下している。公債費比率は 9.2% で 0.9 ポイント、実質公債費比率は 7.1% で 1.1 ポイント、それぞれ前年度を下回っている。また、経常収支比率は 92.7% で 2.7 ポイント改善したものの、依然として財政構造の硬直化の傾向が見られる。地方債現在高は 107 億 6,906 万 3,000 円で、前年度と比較すると 1.18% の減少となっている。

一般会計の根幹をなす市税の収納率は 81.77% で、前年度と比較して微増となったものの、景気の影響や雇用情勢の悪化等もあり、市税収入は 9,700 万円ほどの減少となっている。

水道事業会計決算では、経営状況は、1 億 30 万 3,554 円の当年度純利益が生じ、前年度に比較し 30.56% の増加となっている。

要因としては、水道事業費用が、水道事業収益を上回る減少となったことから、前年度の純利益を上回る結果となった。

このような状況を踏まえた上で、本決算審査特別委員会は、9 月 14 日、15 日、17 日及び 21 日の 4 日間にわたり、3 階第 3 会議室において、市長、副市長、教育長、代表監査委員及び関係部課等の長の出席を求め、適正で効率的な執行がなされているか慎重に審査いたしました。

審査の過程においては、活発な論議を経て、公正で効率的な予算の執行について当局の見解をたしました。

公会計の整備については、国が示した指針により平成 21 年度までにその推進が要請されてきたところであり、資産の評価に難しい点はあるものの、本市においても原則的には早期に導入を検討する必要がある。

審査の結果、監査委員の意見書のとおり、各会計とも計数については誤りのないものと認められました。

今後の予算の執行に際しては、「最少の経費で最大の効果を上げるよう」より一層の検討を加え、これまで以上に効果的・効率的な市政運営に努め、市民の期待にこたえるための予算執行となるよう、特に次の事項について適切な措置を期待し、報告いたします

- 1 税や料金等については、徴収率の一層の向上に努め、不納欠損額及び収入未済額の削減に努力し、納税課を新規に設置した効果がはっきりと数値的に表れるよう努力すること。
- 2 負担金補助及び交付金による事業や委託事業については、必要性や費用対効果を十分検証し精査すること。
- 3 決算関係書類等に記載される事業名や団体名等の名称については、正確性を高めること。
- 4 ホームページの充実やふれあい広場の活用など、有形無形にかかわらず利用可能なあらゆる市有財産の積極的な有効活用を図ること。
- 5 消防については、市民の生命身体財産の保全に、より一層資するよう施設や車両等の消防力の強化を図るとともに適切な人員配置を検証すること。
- 6 給食については、センターの統合に合わせて計画的な改修に努め、二重投資とならぬよう注意すること。また、給食費の歳入が雑入に入れられているが未納額が分かりづらいため、明確となるよう記載方法を検討すること。
- 7 福祉タクシー利用助成については、事業内容の精査に努め、次年度以降についても継続的に実施すること。
- 8 妊婦健診は受診回数の向上に努め、各種健診についても受診率の向上に努めるとともに検査項目の充実や待ち時間の短縮など利便性を高める努力をすること。
- 9 生活保護については、弱者救済の観点に留意するとともに、公平・公正の観点から不正受給等が起こらぬよう適正な検証に努めること。
- 10 八富成田斎場については、施設の規模や設備等を検証して利便性の向上に努めること。
- 11 道路維持管理については、市民からの要望も多く、効率的な執行が可能な予算の充実を図ること。
- 12 水道事業については管渠の耐用年数を検証し、石綿管も含め、計画的に早期に更新を図ること。

みなさんからの請願・陳情

請願第 18 号

◆「国における平成 23（2011）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願 … 採 択

請願第 19 号

◆「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願 … 不採択

請願第 21 号

◆「国営かんがい排水事業「北総中央地区」の完成にむけての意見書」採択に関する請願 … 採 択

意見書を提出

◆国営かんがい排水事業「北総中央地区」の完成にむけての意見書

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官

◆国における平成 23（2011）年度教育予算拡充に関する意見書

（提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

◆子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書
（提出先）内閣総理大臣、厚生労働大臣

一般質問

(会派代表・個人)

9月定例会では、8月28日、9月1日から3日の四日間にわたり一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が行われました。
詳細については、市立図書館にて会議録(11月下旬発行予定)の閲覧、または、富里市議会ホームページ(11月下旬掲載予定)でご覧ください。

※ 本問者
身原稿
によるもので
よす。

一般質問通告項目(会派代表)

フォーラム富里

(1) 市長の市政への取組姿勢について

市民クラブ

(1) 健康福祉施策について

(2) 道路建設の現状について

市政会

(1) 行財政について

(2) 基盤整備について

(3) 教育福祉について

(4) 経済産業について

公明クラブ

(1) 平成22年度施政方針について

(2) 火災・水害で被災された方の被災支援について

(3) 福祉政策について

一般質問通告項目(個人)

鈴木英吉

(1) 市税の滞納整理について

(2) 市の資産運用計画について

(3) 平成23年度開園の保育園について

(4) 学校教育による民間人の活用について

高橋保夫

(1) 公共下水道計画について

(2) 防犯に向け体制の充実を

(3) 農業問題関係

(4) 高齢者、老人会の活性化について

布川好夫

(1) 交通安全対策について

(2) 道路行政について

(3) 福祉行政について

(4) 市民サービスについて

高橋益枝

(1) 安全、安心のまちづくりについて

(2) 環境について

窪田 優

(1) 富里市の「所在不明者」はいま

すか

(2) 国民健康保険について

(3) 総合型地域スポーツクラブ設立進捗について

佐藤繁夫

(1) 協働のまちづくり条例について

(2) 高齢者について

中野信二

(1) 日吉台地区の諸問題

柏崎のり子

(1) 安心の公共サービスを保障するために

(2) 平和問題について

(3) 国民健康保険事業について

立花廣介

(1) 行政の諸問題について

フォーラム富里

櫻井優好

問 市長の市政取組姿勢について。

答 市民との情報共有については、地域のことを地域で決めていくためには、今までも増して市民ニーズの把握が重要です。そのため

には、市の情報の公開や提供はもとより、市民と市が情報を共有していくことが不可欠なものと考え、今後は、情報の提供の方法や情報共有のための仕組みについて研究してまいります。地域社会と協働のまちづくりの必要性については、多様化する市民ニーズにこたえていくためには、市内の各地域がもつ固有の実情や課題を踏まえた地域単位での取組も重要となると考えます。今後、協働のまちづくりを進めていく中では、地域づくりのための手法についても検討していく必要があると考えます。当市の今後の重要性和目指す方向性については、これからは本格的な高齢化が進むわけですが、引き続き行政改革に取り組むとともに、協働のまちづくりを進め、新たな総合計画に基づき、真に市民ニーズに合った事業を推進していきます。

市民クラブ

押尾 隆

問 高齢者の「安心」「安全」対策に「救急医療情報キット」の活用を。また本市の高齢者数は。

答 7月末現在で、六五歳以上は八、八三四人、独居は八三八人です。七五歳以上は、三、三三三人で

独居は、三四三人です。「キット」は、災害時要援護者、六五歳以上の高齢者及び障害を持つ方の「安全・安心」を確保します。かかりつけ医・持病などの医療情報、健康保険証・診察券・薬剤情報書の写し・本人の写真など救急

時のために、専用の容器に収納し自宅の冷蔵庫に保管し万一の場合に備えておくものです。本市も、今後配布対象者等の検討も含め、これから検討させていただきます。

問(仮) 酒々井ICに向かう市道バイパスの進捗状況について。

答 道路線形や安全対策等、警察との事前協議が済み、用地交渉は、9月中旬ごろから地元に入る予定。地権者数は三七名で市外は二名、平成25年度末の供用開始に向け事業を推進します。

市政会

秋本真利

問 小学校三年生までの医療費助成制度を、来年度から小学校六年生や中学生にまで拡充できませんか。

答 小学校六年生まで考えてみたい。

問 妊婦健診への国庫補助が年度末で終わるが来年度以降も市が補助する考えは。また、3Dエコーの無料化や子宮頸がんワクチンの成人女性への助成はできませんか。

答 妊婦健診は継続できるような検討。
『基盤整備について』

問 酒々井ICへのバイパス工事の進捗率を高めるのと同時に、南部からの入り口である住野交差点方面にも力を入れてもらえませんか。
答 年度末の買収率一〇〇%が目標。周辺道路については八街市長などと一緒に関係機関へ要望します。

問 空港場外下水道の供用見通しは。
答 第一小から下流について協議中。
問 上流部分のファミリータウンや旭ヶ丘についても検討すべきでは。
答 非常に厳しいと思うが検討する。

『経済産業について』

問 法人税率の引き下げを来年度当初から導入できませんか。

答 税率引き下げに向けて準備する。

公明クラブ

大川原きみ子

問 市のCO₂削減について今後一〇年間の総合計画策定に、どのようなビジョンを示されるのか。

答 CO₂削減は環境基本計画の中で具体的に表していくが、基本構想に即した視点で取り組んでまいります。

問 火災・水害で被災された方の残処理支援と費用減免について。

答 当市の不燃処理施設は小規模であり、対応に限界があります。

今後いろいろと手配した中で受け入れられる形で検討しているところです。全般的においても今後、検討していきます。

問 児童虐待を未然に防ぐことが大切として、見守りの観点から「こんにちは赤ちゃん事業」の家庭訪問の充実について伺います。

答 健康推進課において「赤ちゃん訪問」を行い、育児面での問題等継続的に相談支援を図っています。

『その他の質問』

① 収納率の向上について

② 主要道路網の交通安全対策

③ 一人暮らしの高齢者の実態把握と対策について

問 市税大口滞納に関する延滞金の処理は

答 本税完納後、延滞金を納めていただく

鈴木英吉

問 不納欠損について。

答 平成21年度の市税の不納欠損は一億三、二五五万八、三四二円で、内訳は、生活困窮や財産なし等が約一億八〇三万円で、死亡や所在不明によるものが約九七三万円、時効が約一、四七九万円です。

『市の資産運用計画について』

問 取得の経緯と運用計画は。

答 仮称十倉運動公園や七栄・新橋地先の環境施設用地は、公園や最終処分場などの目的のために売買によって取得。今後の土地利用のあり方は検討してまいります。

『23年度開園の保育園について』

問 開園後の運用内容については。

答 社会福祉法人により平成23年2月完成、4月開園の予定と聞いております。開園後の入所定員は一二〇名で内訳は、〇歳児一五人、一歳児一五人、二歳児二人、三歳児三人、四歳児三人、五歳児三人の計画となっております。



待望の民間保育園が日吉倉に (イメージ)

『学校教育による民間人の活用』
問 経験者カリキュラムの導入は。
答 経験者カリキュラムの導入について、子供達に学習体験をさせ、自分の生き方を考えさせ、将来の職業に対する夢を持たせるなど、教育効果は大きいと考えます。今後一層、学校との連携を強化して生き方指導に取り組みます。

問 公共下水道計画について

答 計画見直しを行っているところですが

高橋保夫

事業認可の見直しについて。

答 第一処理区分は立沢台、東立沢、第二処理区分は富里第二工業団地、第一小学校など進めています。

問 集中浄化槽で苦勞している団地も多い。再三要望してきた第三処理区分の計画見直し及び見通しは。

答 根本名ニュータウン、富里台と今年度事業認可に向け委託業務発注済みで県と調整協議を行っており年度内に認可を取ることと進めているところです。

問 見直し後の相川市長の考えは。

答 皆さんが安心して住めるよう、なるべく早く進めていきたいと思っています。

『防犯に向け体制の充実を』

問 青色パトロール車の増車を。

答 絶対数が少ないので努力してまいります。老朽庁車の買い替え時に青色回転灯の装着等、検討してまいりたいと思います。

『高齢者、老人会の活性化に』

問 健康づくり、教養、文化向



仲よくグラウンドゴルフ

上に施設の充実を図るべきと思うが。

答 休日開館も含め各種事業展開を検討協議してまいりたい。

問 グラウンドゴルフ協会の皆さんがイベント広場の月曜日供用の要請をしているがいかげんしょうが。

答 公園の担当と相談しながら調整していただきたい。

問 ゲリラ豪雨冠水対策について

答 被害の状況を把握し、対策に努めます

布川好夫

『交通安全対策について』

問 危険な交差点や通学路に「立体減速表示シート」の設置について。

答 現在、市内で設置している箇所はございませんが、効果等を検証し設置を検討します。

『道路行政について』

問 狭あい道路の整備促進に関する条例について。

答 市内には道路幅員が四メートルに満たない、いわゆる「狭あい道路」がある現状は承知しています。

狭あい道路、建築基準法でいう2項道路の取り扱いについては、対応に苦慮しておりますが、条例、要綱等を制定し、狭あい道路の拡幅整備を行っている自治体を参考に、研究してまいりたいと考えています。

『市民サービスについて』

問 運転免許返納高齢者について。

答 高齢者運転免許自主返納支援に関する制度として、近年増加している高齢者の交通事故対策



立体減速表示シートの設置を

問 CO₂(二酸化炭素)削減について

答 排出削減に取り組んでいます

高橋益枝

問 クリーンセンターのCO₂排出量は。

答 21年度は最高の数値です。

問 京都議定書で、森林によるCO₂の吸収量が認められています。

県の美しいちばの森づくり、森林整備によるCO₂認証制度で里山をNPOや団体が間伐するというのは富里ではどうですか。

答 人員の確保等難しいです。

問 CO₂排出は増えて吸収量は減っているのであれば、環境浄化植物サンパチエンスを植えてはどうですか。一般的な草花と比べて、CO₂を四

六倍、NO₂(二酸化窒素)を五〜八倍、吸収するそうです。

答 研究してまいりたいと考えております。

『(仮称)「富里市空き家管理条例」の制定について』

問 国土交通省の「空



温暖化対策にサンパチエンス

き地、空き家等外部不経済対策について」のなかで周辺に外部不経済をもたらす土地利用が発生していると、全国の市区町村のアンケート調査で分かりました。市では空き家の実態調査をしたことがありますか。

答 ありません。

問 所沢市では制定され、10月1日から施行されるそうです。

答 空き家の管理に関しての新たな条例の制定については検討します。

問 総合型地域スポーツクラブ設立進捗は

答 中学校区単位で設立を目指しています

窪田 優

問 平成15年スポーツ少年団全国研修大会でクラブ設立の意義を感じ、平成16年6月以来一般質問で取り上げてきました。平成18年11月には早稲田大学の作野先生を招いて生涯学習課と学区スポ少の協力で北部コミセンで説明会を開きました。その時のアンケートで参加者から、理解できた、参加したい、協力できるとの意欲が読み取れます。この資料は市に提供しています。今でも協議、研修会、説明会の実施段階と考えているのですか。

答 日吉台から始まったことは知っていますがデータは把握していませんでした。(国の目標は平成22年度までにということですが。)総合型地域スポーツクラブは長い目で見たとき、市に必要なクラブであると思っています。

『市の国民健康保険徴収率』

問 国保税の徴収率は七七・六％と前年を更に下回っています。現在、一年分の保険税を八回

に分けて納付してありますが一二回の方が納めやすいものではありませんか。

答 負担感は軽減すると思うが県内三六市で二四市が八回納付、十回は七市等です。県健康保険団体連合会印旛支部の主管課長会議もあるので情報交換も踏まえて検討したい。



元気に、豊かに、スポーツを

問 高齢者が安心できる生活は

答 見守り活動や自立支援活動

佐藤繁夫

問 今、世間では、高齢者で生死不明の方が多くいるということ、社会問題になっています。

答 高齢者が安心して生活している富里市としての対応策は。また、七五歳以上の高齢者への支援は記念品贈呈等だが、声かけ運動等はどう考えていますか。

答 当市の七五歳以上の独居高齢者は7月末現在、男女合わせて三四三人で、七五歳以上高齢者の総数三、三五三人に対して、一〇・二二％が独居となっています。

また、高齢者世帯の実態調査として、住民基本台帳の異動情報を参考に独居高齢者名簿・高齢者世帯名簿等整備しています。

さらに市内の一人暮らし高齢者の実態を把握するための訪問調査を民生委員が、また、在宅介護支援センター等と連携を図り、見守り活動や自立支援活動を行っています。

問 経済的支援もなく、孤独死



富里の介護支援と医療支援

をした人が報道されているが、富里でも七栄で孤独死があったと聞くが。

答 平成22年4月から8月末までで孤独死された生活保護受給者は四名ありましたが、高齢者はいません。平成21年度には六五歳以上は一名いました。

問 (仮称) 成田徳洲会病院の開業予定は

答 早くても平成24年12月頃開業か

中野信二

『日吉台地区の諸問題』

問 (仮称) 成田徳洲会病院の建設状況と今後の見通しについて。

答 現在、建築設計の見直しを行っており、早くても平成24年12月頃開業の予定と聞いています。

問 メイン道路の今後の整備計画は。

答 最近二年間で約三〇〇mの整備を完了。今後、年間約一五〇m程度の整備を継続し、北部コミュニティセンターまで完了したい。

問 日吉倉離山地区の道路拡幅の見通しについて。

答 都市計画道路の設置計画があるので、拡幅予定はない。現道路の交通安全対策を検討します。

問 日吉台地区から日吉倉の新保育園への道路を整備すべきではないか。

答 現況の道路形状や周辺の構造物等から、車両通行に対応できる側溝の敷設換え整備は困難です。歩行者の安全対策として、側溝の蓋かけを今後



今後も進む日吉台の道路整備

検討します。

問 ドクターヘリ離着陸時の砂塵飛散対策を行うべきではないか。

答 日吉台小学校庭の使用に際しては、消防隊が飛散物の撤去、砂塵等の飛散軽減のための散水を行っています。しかし、ヘリの到着が早い場合、十分な散水ができていない。住民の方のご理解をお願いしたい。

問 公共事業の公契約条例の制定を

答 理念・趣旨は賛成であり検討する

柏崎のり子

問 野田市では全国に先がけて公契約条例を制定しました。前文に公共事業の低入札により従事する労働者の賃金低下を招く状況になっていることを明確にし、賃金は公共工事設計労務単価の八割を最低賃金の目安としています。また損害賠償の罰則規定により受注者に条例の履行を担保としています。

下請業などに賃金が適正に支払われてこそ安心の公共サービス保障につながり、市税収入への波及効果も期待できます。

答 発注者側としての責務もあり、理念、趣旨には賛成するものです。野田市の条例を参考に真剣に検討したいと思います。

ます。低入札価格工事が増加し下請業、現場労働者の工事代金、条件切り下げで働く人たちの生活が日増しに劣悪な状況に追い込まれています。条例制定を検討すべきです。

答 公契約の質の確保、適正な労働条件の整備は重要と考えます。

問 公共事業、公共サービスは市民生活を支えるために不可欠です。今後リサイクルセンター、給食センター建設が控えています。「安かろう、悪かろう」では税金のむだ遣いにつながります。



税金で賄われる公共工事

問 ごみ処理工場移転後の自己搬入対策

答 中継施設機能を持ったものを用意する

立花廣介

問 現在クリーンセンターには、土曜日などは長い行列ができるほど自己搬入が多くなっています。新工場の話の当初には、成田までは遠いので自己搬入の住民のために、中間的な置き場をつくって処理することを考えたいと表明されたと思うが、最近の答弁などでは自己搬入対策はやらないと考えているように思える。自己搬入は成田まで行くことを想定しているのですか。成田と共同した結果、住民は不便になったと言われないようにしてほしい。

ることで直接市職員が訪問するなどの対策が必要ではないですか。

答 市内のひとり暮らしの高齢者の訪問調査を民生委員会のご協力です。把握できないのは調査拒否などの理由です。

市職員の直接訪問は、職員配置体制から困難です。

答 ごみを富里で燃せなくなれば、住民に迷惑をかけないように、今言われたように、中間で集める機能を持ったものを、それまでに用意したい。それも一五町歩の用地にリサイクルセンターと一緒にそろえたいと思います。

『高齢者の生活実態把握について』

問 大きな社会問題になってい



行列して待つ自己搬入の車



実りの秋、富里のぶどう（金堀地先）

議会を傍聴しませんか

12月定例会は

11月26日(金)から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎一階）のテレビでも
ご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど
皆様のご意見をお待ちしております。
また、議会報は市議会ホームページでも
ご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄 652-1 議会事務局
TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.chibajp/gikai/index.html>

編集後記

今年の夏は猛暑日が続き、市民の皆様も毎日大変ご苦勞されたことと思います。9月23日（秋分の日）になり、ようやく秋の涼しさを感じられるようになりました。ほっとしますね。

日本の経済状況は円高ドル安が進み（1ドル＝85円前後）輸出関連企業は厳しい経営状況です（9月23日現在）。

社会では、テレビ放送の地上デジタル化に向けて、国内の住宅・建物等でテレビの対応・アンテナ工事等が進められています。（平成23年7月24日アナログ放送終了）

政治では、民主党代表選、菅直人改造内閣がスタートしました。私たち国民は政府に「未来をつくる」ための少子高齢化対策や地域活性化策に全力で取り組んでいただきたい。

さて、富里市議会9月定例会議会報（168号）をお届けさせていただきました。手づくりの議会報告になりますが、市民の皆様にも愛読されるよう編集委員の一人としてこれからも頑張っていきたいと思っています。

（中間幸一 記）

とみさと議会報編集特別委員会

委員長／高橋益枝 副委員長／高橋保夫 委員／塩田和夫、中間幸一、立花廣介、布川好夫、窪田 優

次回（平成22年12月定例会）は2月1日発行予定です。

再生紙を使用しています